

令和6年度 鳴滝総合支援学校 学校評価アンケート(前期) 集計結果

保護者		R6 実現度			
		よく出来てい る	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い
1	子どもは、将来の夢や希望を描けている	9.0%	64.2%	25.4%	1.5%
2	子どもは、共通教科で満足感や達成感をもっている	16.4%	64.2%	17.9%	1.5%
3	子どもは、専門教科で満足感や達成感をもっている	26.9%	62.7%	10.4%	0.0%
4	子どもは、職場等実習で満足感や達成感をもっている	32.8%	55.2%	7.5%	4.5%
5	子どもは、学校や保護者が必要と考える「生きる力」を身につけてきている	9.0%	68.7%	22.4%	0.0%
6	子どもの目標や学習計画に基づいて計画的な指導を行っている	35.8%	61.2%	3.0%	0.0%
7	子どもが理解しやすいように、授業や教材に工夫がみられる	37.3%	61.2%	1.5%	0.0%
8	子どもの努力や達成度について、適切に評価されている	49.3%	49.3%	1.5%	0.0%
9	子どもが次の目標を持てるように評価されている	43.3%	52.2%	4.5%	0.0%

生徒		実現度			
		よく出来てい る	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い
1	将来の夢や希望がある	19.7%	47.5%	19.7%	13.1%
2	共通教科で「わかった」「できた」と思うことがある	36.1%	54.1%	8.2%	1.6%
3	専門教科で「わかった」「できた」と思うことがある	55.7%	34.4%	8.2%	1.6%
4	職場実習で「できた」「やりきった」と思うことがある	45.9%	50.8%	3.3%	0.0%
5	いろいろな知識や技能が身についてきていると思う	32.8%	59.0%	6.6%	1.6%
6	先生は、なんのために勉強するのかをはっきり教えてくれる	57.4%	39.3%	1.6%	1.6%
7	先生は、わかりやすく勉強を教えてくれる	66.7%	30.0%	1.7%	1.7%
8	先生は、学習の成果について、伝えてくれる	50.8%	44.3%	3.3%	1.6%
9	学習の成果を知って次の目標をたてている	39.3%	44.3%	11.5%	4.9%

教職員		実現度			
		よく出来てい る	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い
1	児童生徒は、将来の夢や希望を描けている	11.9%	73.8%	11.9%	2.4%
2	児童生徒は、「共通教科」で満足感や達成感をもっている	14.3%	71.4%	9.5%	4.8%
3	児童生徒は、「専門教科」で満足感や達成感をもっている	23.8%	71.4%	0.0%	4.8%
4	児童生徒は、「職場等実習」で満足感をもっている	42.9%	50.0%	2.4%	4.8%
5	児童生徒は、個別の包括支援プランに沿った「生きる力」を身に着けてきている	9.5%	81.0%	9.5%	0.0%
6	個別の包括支援プランに基づいて計画的な指導を行っている	19.0%	54.8%	26.2%	0.0%
7	学習効果を上げるため、指導法の改善に取り組んでいる	16.7%	81.0%	2.4%	0.0%
8	児童生徒の努力や達成度について適切に評価をし、個別の包括支援プランの作成や指導法の改善にいかしている	16.7%	69.0%	14.3%	0.0%
9	児童生徒が次の目標を持てるような評価をし、児童生徒に伝えている	26.2%	71.4%	2.4%	0.0%

10	子どもは、自分から挨拶をしたり、場に応じた言葉遣いで話すことができる	26.9%	50.7%	22.4%	0.0%
11	子どもは、学校のきまりや約束を守って学校生活を送っている	41.8%	52.2%	6.0%	0.0%
12	子どもは、友達に対して思いやりを持ち、お互いに協力している	22.4%	71.6%	6.0%	0.0%
13	子どもは、家庭で任された役割があり、実行している	22.4%	56.7%	20.9%	0.0%
14	子どもは自分の長所に気づいている	11.9%	53.7%	32.8%	1.5%
15	子どもの自己肯定感が高まってきている	16.4%	56.7%	25.4%	1.5%

10	自分からあいさつをしたり、ていねいな言葉づかいで話すことができる	36.7%	48.3%	11.7%	3.3%
11	学校のきまりや約束を守っている	68.9%	26.2%	3.3%	1.6%
12	とまだちへのおもいやりをもち、お互いに協力している	47.5%	50.8%	1.6%	0.0%
13	学校や家庭で自分に任された役割があり、実行している	36.7%	48.3%	11.7%	3.3%
14	自分の長所がよくわかっている	31.1%	42.6%	21.3%	4.9%
15	自分は大切な存在だ、誰かに必要とされていると感じている	37.7%	32.8%	18.0%	11.5%

10	児童生徒は、自分から挨拶をしたり、場に応じた言葉遣いで話すことができる	14.3%	64.3%	21.4%	0.0%
11	児童生徒は、学校のきまりや約束を守って学校生活を送っている	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
12	児童生徒は、友だちに対して思いやりを持ち、お互いに協力している	38.1%	59.5%	2.4%	0.0%
13	児童生徒は、学校で任された役割があり、実行している	28.6%	66.7%	4.8%	0.0%
14	児童生徒が自己理解を深められるような取り組みをしている	16.7%	78.6%	4.8%	0.0%
15	児童生徒の自己肯定感が高められるように意識して指導にあたっている	28.6%	66.7%	4.8%	0.0%

16	子どもは、健康な生活を送ることを意識して、自分なりの維持管理に取り組んでいる	25.4%	50.7%	22.4%	1.5%
----	--	-------	-------	-------	------

16	病気や健康に気をつけながら、学校へ通っている	52.5%	37.7%	8.2%	1.6%
----	------------------------	-------	-------	------	------

16	児童生徒は、健康な生活を送ることを意識して、自分なりの維持管理に取り組んでいる	16.7%	71.4%	11.9%	0.0%
----	---	-------	-------	-------	------

17	短期目標や評価について、学校は保護者に適切に伝えている	49.3%	47.8%	3.0%	0.0%
18	子どもと卒業後の進路や生活について日頃から話をして共有している	14.9%	56.7%	26.9%	1.5%

17	卒業後の進路や生活について、先生たちに相談できている	29.5%	41.0%	23.0%	6.6%
18	卒業後の進路や生活について、保護者に相談できている	18.3%	48.3%	23.3%	10.0%

17	個別の包括支援プランを基に、短期目標や評価を保護者に適切に伝えている	31.0%	64.3%	4.8%	0.0%
18	児童生徒や保護者と卒業後の進路や生活について話をして共有できている	28.6%	69.0%	2.4%	0.0%

19	個別の相談について、学校は保護者に適切に対応している	46.3%	52.2%	1.5%	0.0%
20	保護者として、本校の教育の趣旨や目的を理解している	31.3%	67.2%	1.5%	0.0%
21	企業のご協力により実習ができていることを理解している	61.2%	37.3%	0.0%	1.5%
22	地域のご協力により演習ができていることを理解している	53.7%	44.8%	0.0%	1.5%

19	企業の協力により、職場等実習ができていることがわかっている	50.8%	37.7%	9.8%	1.6%
20	地域の協力により、郊外演習ができていることがわかっている	42.6%	37.7%	14.8%	4.9%

19	保護者からの個別の相談に適切に対応している	42.9%	54.8%	2.4%	0.0%
20	保護者は、本校の教育の趣旨や目的を理解している	19.0%	78.6%	2.4%	0.0%
21	児童生徒は、企業のご協力により実習ができていることを理解している	23.8%	61.9%	9.5%	4.8%
22	児童生徒は、地域のご協力により演習ができていることを理解している	31.0%	57.1%	7.1%	4.8%

【特徴・分析】 ・保護者の肯定的な回答の割合は昨年度前期と比較すると、87.0%から85.6%に微減している ・保護者の肯定的な回答の割合は22項目中11項目の実現度が高い(90%以上) ・⑩⑭⑮の項目が、昨年度前期の保護者の肯定的な回答の割合より下回っている 【考察】 ・項目⑩について、子どもは大人の姿を見て学ぶことから、学校や家庭で見本を示すことが重要です。日々の学校生活で丁寧な言葉遣いや挨拶をする姿を教職員が示し、ご家庭では挨拶や場面・状況に応じた言葉遣いについて振り返っていただくことで「できる姿」を引き出せると考えます。 ・項目⑭⑮について、自己肯定感を高めるためには、児童生徒が成功体験を積めるように、教職員が子どもの意見を聞き、尊重し、失敗しても「次はこうすればうまくいくよ」と前向きに捉えられる言葉をかけることが重要です。学校では、達成感を味わえる活動を増やし、児童生徒が何かを達成した時や努力した時に、「今日は自分から挨拶できたね」「この前よりも上手にできたね」といった具体的でポジティブなフィードバックを心掛けています。また、授業・学級・学年・生徒会・委員会等、様々な学習場面で話し合う活動を設定し、自主的な決定と自覚できるよう、指導しています。今後も継続して前向きに捉えられる言葉かけをするよう取り組んでまいります。					
---	--	--	--	--	--

【特徴・分析】 ・生徒の肯定的な回答の割合は昨年度前期と比較すると、87.0%から85.6%に微減している ・生徒の肯定的な回答の割合は20項目中10項目の実現度が高い(90%以上) ・①⑭⑮の項目が、昨年度前期の肯定的な回答の割合より下回っている。また、下がりしなかったものの、⑮の項目は60%台である 【考察】 ・項目①⑮について、生徒が自分の将来に対して前向きに考え、夢や希望を持てるような環境を作っていくことが大切だと考えます。さまざまな職業や進路について知る機会を増やし、自分の将来について具体的に考えるきっかけや夢や希望を持つことの重要性や、それを実現するための具体的な方法について学ぶ授業を設定していく必要があります。また、ご家庭でも将来について話し合う機会を増やせるよう、保護者向けの情報提供もPTA活動を通して継続して行っていきたいと考えます。 ・項目⑭⑮について、生徒一人ひとりが特別な存在として認識されていると感じられるような関りをするのが大切だと考えます。生徒の努力や成果を認め、具体的なフィードバックを返し、学校生活の様々な場面で役割や責任を持って他者と協力する経験を設定し、自己有用感を高める指導に取り組んでまいります。					
--	--	--	--	--	--

23	教職員間での報告・連絡・相談を常に意識し、情報の共有に努めている	40.5%	54.8%	4.8%	0.0%
24	全教職員が「学校いじめの防止等基本方針」の内容を理解し、組織的対応に努めている	40.5%	52.4%	7.1%	0.0%
25	児童生徒や保護者の訴え(アンケート結果含む)や相談内容を共有している	40.5%	54.8%	4.8%	0.0%

【特徴・分析】 ・教職員の肯定的な回答の割合は昨年度前期の回答と比較すると、90.7%から92.0%に微増している ・教職員の肯定的な回答の割合は25項目中17項目の実現度が高い(90%以上) ・教職員の肯定的な回答の割合は25項目中3項目が昨年度前期の数値を下回っている。10%以上の落ち込みのある項目は見られない 【考察】 ・教職員が肯定的かつ積極的に学校経営や教育活動に取り組んでいることが伺えます。 ・項目⑩について、我々教職員が見本となり、同僚、生徒、近隣住民へ挨拶することや児童生徒一人一人に丁寧に関わることが大切と考えます。児童生徒の「できる姿」を目指し、教職員が見本となるよう取り組んでまいります。					
---	--	--	--	--	--